

命口説（ぬちくどうち）

本調子

工	四	乙	四	合	尺	工	合	尺	工	五	七	五	工

尺	工	五	工	尺	上	老	上	尺	工	合	尺	工
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

五	工	尺	工	四	合	尺	工	五	四	乙	四	合	尺	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

乙	四	上	四	工	四	乙	四							
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

命口説（ぬちくどうち）

本調子

2 / 2

一、1 行じやる戦争（いくさ）や 覚
出ちん

二、5 命ただ一ち ひさぎやい

見ぬ毛立ちさみ 恐ろしや
此の世ぬ地獄や ありどうやる

島尻中頭 国頭とう
過ぎてい過ぎたし 忘ららん

2 日ぬ丸揚ぎとてい 竹やり
命や預けてい 国ぬ為
エイヤエイヤとう 勤みたん

6 海山川ぬ 形までい
変わい果ていたる 我がウチナ
如何し呉みせか 神仏

3 君に忠孝 信じとうてい
島人諸人 命身かき
護てい護たる 事やし

7 あぬ洞窟此ぬ洞窟 隠りとてい
命やようよう もうきていん
親、兄弟、子、孫や 散りじり

4 艦砲射撃 雨あられ
あたら生り島 散々に
火の海火の山 なちねらん

8 如何に物言わん 草木やていん
命あるたみし 焼かりりば
アキヨくとう 泣かなうちゆみ

三、9 戦争（いくさ）起くちやし 何
ぬ為か
戦争（いくさ）始みた 誰やゆ
が
神ぬ仕業か 人故か

10 戦争世しぬぐ 平和（みるく
）世ん
迎えるさみとう思ば ありく
りとう
国ぬユサユサ 果ていや無ら
ん

11 幾年月日 経るたとてい
ウチナー御万人 あぬ戦争工
イ
子や孫に語らとうてい
何時まで忘んな 命口説